

NEWS RELEASE

報道資料

2010年4月14日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ シンガポールに 半導体製造装置のグローバルな生産ハブをオープン

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 4 月 13 日 (現地時間)、最先端の半導体製造装置を生産するアジア初の拠点として、シンガポール オペレーションズ センターをオープンしました。シンガポールのチャンギ ノース工業団地内に建設された 32,000 m² の同センターは、アプライド マテリアルズの半導体製造装置のグローバルな生産ハブとなるほか、世界規模のサプライチェーン業務や、その他のコーポレートサポート機能を果たします。

会長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「シンガポールオペレーションズ センターの開設は当社にとって記念すべき出来事であり、今後数年にわたって増える見通しの最先端半導体製造技術への需要に応える上でも重要な意味を持っています。当社の半導体ビジネスの 70%以上はアジア市場向けです。このセンターに主要な製造業務や、様々なグローバル向け、アジア全域向けのサポート機能を集約する予定なので、今後数年のうちには、当社が供給する半導体製造装置の 50%はこのセンターを経由することになるでしょう」

「シンガポールは当社半導体ビジネスのお客様や取引先とも距離的に近く、優れたビジネスインフラがあり、政府の強力な支援も得られるため、ロケーションとしては申し分ありません。優秀な人材と現地サプライヤーがそろったシンガポールの製造エコシステムに参画して、お客様と緊密に協力しながら最先端テクノロジーの開発とコスト削減を進める機会を得たことを喜んでいきます」とスプリンターは付け加えています。

アプライド マテリアルズは、今後高い技能を持つスタッフなどの雇用を進め、数年間で同センターの人員を 800 人に倍増する予定です。

アプライド マテリアルズのシンガポール オペレーションズ センターは厳しい環境基準に適合するよう設計されており、シンガポール BCA (Building and Construction Authority : 建設局) より、環境分野でシンガポール最高の荣誉とされる Green Mark

Platinum Award を受賞しました。同センターにはシンガポール最大の薄膜型太陽光発電システムが設置されています。(出力 400kWp、年間発電量 450MWh、アパート 100 世帯分以上の年間電力相当) このシステムにはアプライド マテリアルズの太陽電池製造ライン Applied SunFab Thin Film Line™で生産された世界で最も強力な 5.7 m²のソーラーパネルが用いられています。建物にはこのほか低放射 (Low-E) ガラス帳壁、雨水リサイクルシステムなども装備されており、これらの設備によって最大 30%の省エネ効果が期待されています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ : <http://www.amat.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 4 月 13 日 シンガポールにおいてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 11 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.amat.com>
